

# 子どもと女性の健康相談室

57



福島医大ふくしま子ども・女性医療支援センター長  
高橋 俊文氏

## 不妊症の治療(生殖補助医療)

一般不妊治療で妊娠しない場合、重度の男性不妊症や高齢女性に対しては生殖補助医療(assisted reproductive technology: ART)が行われます。

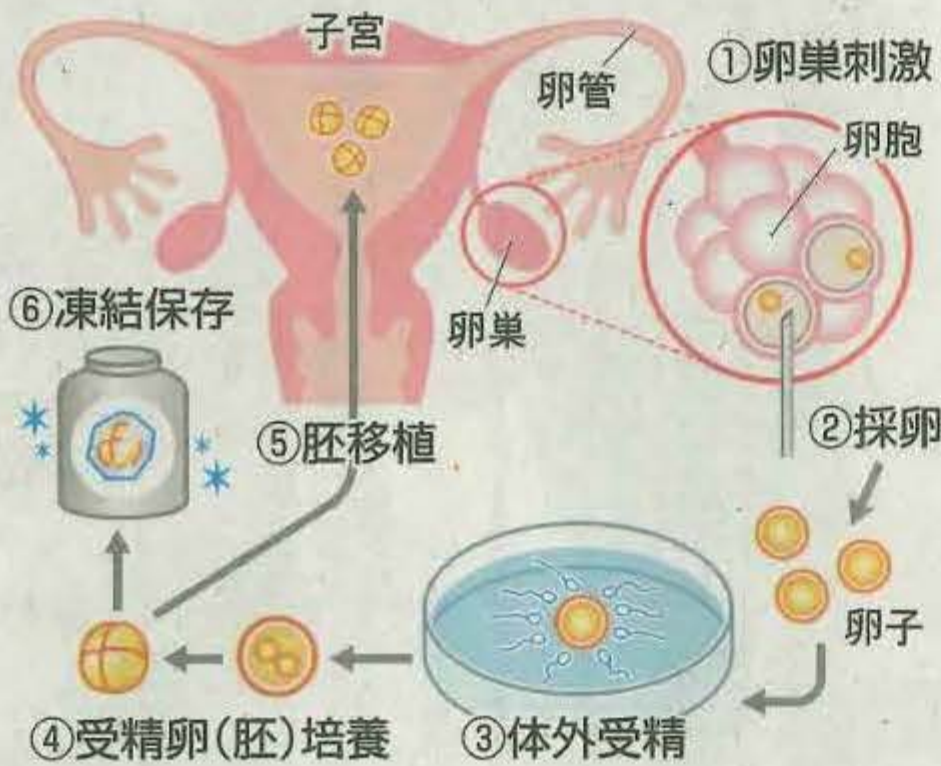
通常の妊娠では、卵管内で精子と卵子が受精し、受精卵(胚)が子宮外で操作する生殖技術の総称です。代表的なARTの体外受精治療は、内に着床して妊娠が成立します。ARTは、精子や卵子または受精卵を体外で操作する生殖技術の総称です。代表的なARTの体外受精治療は、

体外受精—胚移植治療の方法は【図】の通りです。多くの卵子を採取するため排卵誘発剤を使用します。採卵手術で卵子を採取します。採取した移殖当たり妊娠率が約30%ですが、妊娠しても四分の一は流産します。出産率は約20%です。妊娠率と出産率は女性の年齢の増加に伴い低下します。これは女性の年齢の増加により流産率が増加するためです。体外受精などのART治療は日本産科婦人科学会の認定施設で受けるこ

# 自費診療 助成もある

女性の卵巣から卵子を取り出し精子と体外で受精させ、受精卵を培養器で培養後に子宮内に移植(胚移植)する治療です。ART治療の種類は、体外受精のほか、顕微鏡下に卵子に精子を直接注入し受精させる顕微授精や受精卵を凍結保存後に融かし胚移植する凍結融解胚移植などがあります。卵子とあらかじめ調整した精子を培養器内で体外受精または顕微授精で受精させます。受精卵は培養器内で三〜五日間培養後に子宮内に胚移植または凍結保存されます。胚移植後二週間で妊娠判定を行います。これらの一連の治療はすべて外来診療で受けることができます。体外受精—胚移植治療の治療成績は、一回の胚

【体外受精-胚移植治療の流れ】



とができます。これらの治療は現在のところ保険診療が適応されず自費診療となります。治療費に関する助成事業が各都道府県で実施されていますので、ホームページなどをご覧ください( <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21035b/fuin-tiryoun.html> )。

次回(1月18日掲載)